

資料 3-22 水浴場水質判定基準

1. 判定については、下記の表に基づいて以下のとおりとする。

- (1) ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD又は透明度のいずれかの項目が「不適」であるものを、「不適」な水浴場とする。
- (2) 「不適」でない水浴場について、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD及び透明度によって、「水質AA」、「水質A」、「水質B」あるいは「水質C」を判定し、「水質AA」及び「水質A」であるものを「適」、「水質B」及び「水質C」であるものを「可」とする。
 - ・各項目の全てが「水質AA」である水浴場を「水質AA」とする。
 - ・各項目の全てが「水質A」以上である水浴場を「水質A」とする。
 - ・各項目の全てが「水質B」以上である水浴場を「水質B」とする。
 - ・これら以外のものを「水質C」とする。

| 項目 区分 | | ふん便性大腸菌群数 | 油膜の有無 | COD | 透明度 |
|----------|------|---------------------------|--------------|-----------------------------|-----------------|
| 適 | 水質AA | 不検出 (検出下限 2個/100mL) | 油膜が認められない | 2mg/L以下 (湖沼は 3mg/L以下) | 全透 (1m以上) |
| | 水質A | 100個/100mL以下 | 油膜が認められない | 2mg/L以下 (湖沼は 3mg/L以下) | 全透 (1m以上) |
| 可 | 水質B | 400個/100mL以下 | 常時は油膜が認められない | 5mg/L以下 | 1m未満 ～50cm以上 |
| | 水質C | 1,000個/100mL以下 | 常時は油膜が認められない | 8mg/L以下 | 1m未満 ～50cm以上 |
| 不適 | | 1,000個/100mLを超えるもの | 常時油膜が認められる | 8mg/L超 | 50cm未満* |

(注) 判定は、同一水浴場に関して得た測定値の平均による。

「不検出」とは、平均値が検出下限未満のことをいう。

透明度(*の部分)に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。

2. 「改善対策を要するもの」については以下のとおりとする。

- (1) 「水質C」と判定されたもののうち、ふん便性大腸菌群数が、400個/100mLを超える測定値が1以上あるもの。
- (2) 油膜が認められたもの。